

佐伯市立 東雲中学校

学力向上プランの概要

テーマ…「まなびに向かう力」を身につけ、「自主的に家庭学習」を行うことができる生徒の育成	
授業改善	その他
<p>1 思考力・判断力・表現力の育成</p> <p>① 授業のねらいとなる視点に基づいた発表する機会の設定</p> <p>② 条件のついた文章の作成 (作文、話し合い、発表、まとめ)</p> <p>2 基礎的・基本的な知識・技能の定着</p> <p>① 小テストや単元テストの実施</p> <p>② 小単元ごとのチェックリストの作成</p> <p>③ 下位層(C層)の生徒への的確な指導・支援</p> <p>3 指導方法や指導形態の工夫等</p> <p>② ペア・班学習の設定</p> <p>② 「総合的な学習の時間」と「教科」との関連図を活かした授業</p> <p>4 新大分スタンダード等の徹底 【P2以降に事例】</p> <p>① 問題解決的な展開の授業づくり</p> <p>② 生徒指導の3機能を意識した授業</p> <p>5 授業評価の実施</p> <p>① 毎時間の授業評価アンケート(生徒)の実施</p> <p>② 学期ごとの取組重点の設定</p>	<p>1 授業ガイダンス</p> <p>① スタートプログラム(学期の初め)の実施</p> <p>② 学期の反省と次学期に向けて(学習集会)</p> <p>2 授業以外における学習活動</p> <p>① 朝(または放課後)の補充学習</p> <p>② 家庭学習の習慣化(家庭学習の手引き)</p> <p>③ 図書館利用の拡大</p> <p>④ 英語弁論大会、ビブリオバトル等の参加</p> <p>3 学校評価</p> <p>① 学力向上会議(学校評議員会)との協調</p> <p>② 佐伯教育事務所・佐伯市教委との連携</p> <p>③ 短期(学期に1回以上)の検証、改善</p> <p>4 家庭との連携・協力</p> <p>① メリハリウィークの実施</p> <p>② 自己有用感に根ざした自尊感情を高めるための取り組み</p> <p>5 地域との連携・協力</p> <p>① 「総合的な学習の時間」と地域との関連</p> <p>② 地域貢献ボランティア活動の実施 (かみうらフェスタ、しめ縄づくりなど)</p>

効果のある取組事例

授業における取組

- 生徒の学習意欲を向上させるために、問題解決的な展開の授業づくりを行い、同時に生徒指導の3機能を意識した授業の充実を図っている。
- 条件のついた文章の記述ができるよう、授業のまとめや振り返りで確認(発表、話し合い、教え合い、まとめなどで)をさせたり、毎回の定期テストに組み込んだりしている。

授業以外の取組

- 授業の復習として、家庭学習用プリントを課題にし、朝(または放課後)の補充学習で確認し、基礎的・基本的な知識の定着を図っている。
- 小規模校であるため、全校での取組が多く、全教職員が生徒と関わりを持ちながら信頼関係を築いている。また、生徒理解のために頻繁に情報交換を行い、教職員が共通認識を持つるようしており、個に応じた支援や指導ができるように工夫している。
- 全職員が「結果にコミット」する強い意識を持った戦う集団になっている。

問題解決的な授業づくり (連立方程式の利用)

1 課題設定の工夫

○生徒が興味を持つ課題。

カルシウムを多くとるために、給食の副菜としてこまつなと
しらす干しの和え物を考えました。
この副菜50gで、カルシウムを112mgとるには、こまつなと
しらす干しをそれぞれ何gにすればよいですか。



国語では「めあて」として、「自分の好きな野菜を
わかりやすく説明する文章を考えよう。」として、主
体的に課題に取り組ませる工夫をしている。

生徒から、「これだけでは、条件が不足している。」と指摘される。

次の条件を提示する。(100gあたりの食材に含まれるカルシウムの量)

食品(可食部)100gあたり	
食品名	カルシウムの量(mg)
しらす干し	520mg
こまつな(ゆで)	150mg

2 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

○自分で考えて、「連立方程式を作ってみよう」・・・自己決定

「こまつな」が x g, 「しらす干し」 y g とする。
 $x + y = 50$ ……この式は、ほとんどの生徒が

理科では「課題」対して、自分で考えて付箋に記入し黒板に分類して張っていくなど、自己決定の場面を設定している。



○発言していない人の意思表示・・・共感的な人間関係

○グループ学習の中で、「あなたなら、どう考える？」と他の人の意見も聞いていた。・・・自己存在感

「この条件だけで問題解ける？」
「無理やろう」
「何が足りんの？」

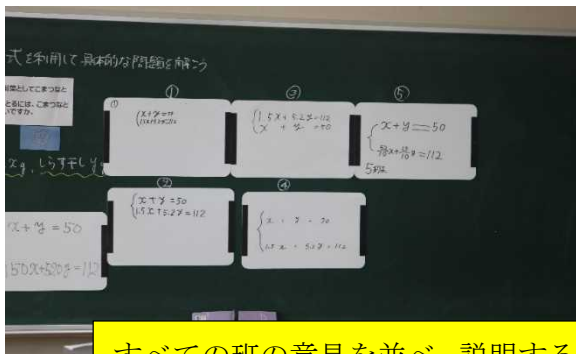


英語でも「課題」対して、意見の交流をしたり、教え合いをするなどして、



3. 全体での交流 ……自尊感情の高まり

1 g あたりのカルシウムの量に注目する必要があります。



すべての班の意見を並べ、説明する。



4. 振り返り

【まとめ】

* 生徒にまとめを言わせて書く。

1 g あたりのカルシウムの量を求めてい



【振り返り】

* 本日の給食にできる和え物はいくらで作れるか？

こまつな 100 g 100 円、しらす干し 100 g 400 円※ 一人当たりいくら？

答え → こまつな 40 円としらす干し 40 円で、
合計 80 円

授業後の黒板：生徒の意見が多く残る授業



この日の給食には「小松菜としらす干しの和え物」が提供されました。